

SHARP

2012年度 決算概要

I 2012年度 連結業績概要

II 資金政策

III 2013年度 連結業績予想

補足資料 ～主要商品販売高等～

シャープ株式会社

2013年5月14日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

SHARP

I 2012年度 連結業績概要

1

- ・ 本日は、ご多忙な中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイントの資料に沿ってご説明いたします。

2012年度 連結業績概要

- ・下期売上高は、上期比 約2,700億円の増収
- ・売上高、営業、経常利益は前回公表をクリアし、下期における営業黒字を達成
- ・一方、当期純利益は、追加事業構造改革の実施により、前回公表を下回る

(単位:億円)

	2011年度		2012年度						2012年度 前回公表 予想値	
	年間	上期	3Q		下期	上期比 増減額	年間	前回 公表比		前年比
売上高	24,558	11,041	6,782	6,961	13,744	+2,702	24,785	+185	100.9%	24,600
営業利益	-375 (-1.5%)	-1,688 (-15.3%)	26 (0.4%)	199 (2.9%)	226 (1.6%)	+1,915	-1,462 (-5.9%)	+87	-	-1,550
経常利益	-654 (-2.7%)	-1,972 (-17.9%)	-18 (-0.3%)	-73 (-1.1%)	-92 (-0.7%)	+1,880	-2,064 (-8.3%)	+35	-	-2,100
当期純利益	-3,760 (-15.3%)	-3,875 (-35.1%)	-367 (-5.4%)	-1,210 (-17.4%)	-1,577 (-11.5%)	+2,298	-5,453 (-22.0%)	-953	-	-4,500

減損・事業構造改革実施等

SHARP

2

- ・はじめに、2012年度の連結業績(2012年4月～2013年3月)の概要ですが、
売上高は、前年比横ばいの2兆4,785億円、
営業利益が、マイナス1,462億円、
経常利益が、マイナス2,064億円
となり、各々前回公表予想をクリアすることができました。
- ・特に下期の売上高は、上期比で約2,700億円の増収となり、営業利益段階
での黒字を達成することができました。
- ・一方、当期純利益については、急激な円安や需要変動等、経営環境の変化
に対応し、固定資産の減損や事業構造改革費用の積み増し等を実施した
ことから、前回公表値を953億円下回るマイナス5,453億円となりました。
特別損失の内容については、後ほどご説明いたしますが、2期連続での多額
の損失計上となりましたことをご詫び申し上げます。

部門別売上高

液晶や太陽電池で、上期から大幅増収となり、前回公表値を上回った

(単位: 億円)

	2011年度		2012年度							2012年度 前回公表 予想値
	年間	上期	下期			上期比 増減額	年間	前回 公表比	前年比	
			3Q	4Q						
AV・通信機器	10,610	3,385	2,023	1,916	3,940	+554	7,326	-73	69.0%	7,400
健康・環境機器	2,923	1,549	748	798	1,546	-3	3,096	-3	105.9%	3,100
情報機器	2,776	1,392	697	884	1,581	+189	2,974	+74	107.1%	2,900
エレクトロニクス機器	16,309	6,328	3,469	3,599	7,069	+741	13,397	-2	82.1%	13,400
液晶	7,209	3,679	2,582	2,204	4,787	+1,107	8,467	+167	117.4%	8,300
太陽電池	2,239	930	559	1,108	1,668	+737	2,599	+149	116.1%	2,450
その他 電子デバイス	2,381	1,259	814	620	1,434	+175	2,694	-55	113.2%	2,750
電子部品	11,830	5,870	3,956	3,934	7,890	+2,020	13,761	+261	116.3%	13,500
小計	28,140	12,198	7,426	7,533	14,959	+2,761	27,158	+258	96.5%	26,900
調整額	-3,581	-1,157	-643	-572	-1,215	-58	-2,372	-72	-	-2,300
合計	24,558	11,041	6,782	6,961	13,744	+2,702	24,785	+185	100.9%	24,600

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

3

- ・このスライドは、2012年度の「部門別」売上高実績です。
ご覧の通り、「液晶」「太陽電池」等、「電子部品」部門を中心に、下期には、上期からの大幅増収を達成し、全体で前回公表値を上回ることができました。

部門別営業利益

下期は、液晶を除くすべての部門で営業利益の黒字化を達成

(単位: 億円)

	2011年度		2012年度						2012年度 前回公表 予想値	
	年間	上期	下期			上期比 増減額	年間	前回 公表比		前年比
			3Q	4Q	下期					
AV・通信機器	-61	-211	53	60	113	+325	-98	-18	-	-80
健康・環境機器	294	173	74	73	148	-24	322	-7	109.3%	330
情報機器	277	69	63	110	173	+104	243	+33	87.7%	210
エレクトロニクス機器	510	31	191	244	435	+404	466	+6	91.5%	460
液晶	-422	-1,155	-117	-116	-234	+921	-1,389	+50	-	-1,440
太陽電池	-219	-123	-19	97	78	+201	-44	+65	-	-110
その他 電子デバイス	95	-237	31	50	82	+319	-155	+14	-	-170
電子部品	-546	-1,516	-104	31	-73	+1,442	-1,590	+129	-	-1,720
小計	-36	-1,485	86	275	361	+1,847	-1,123	+136	-	-1,260
調整額	-338	-203	-59	-75	-135	+68	-339	-49	-	-290
合計	-375	-1,688	26	199	226	+1,915	-1,462	+87	-	-1,550

SHARP

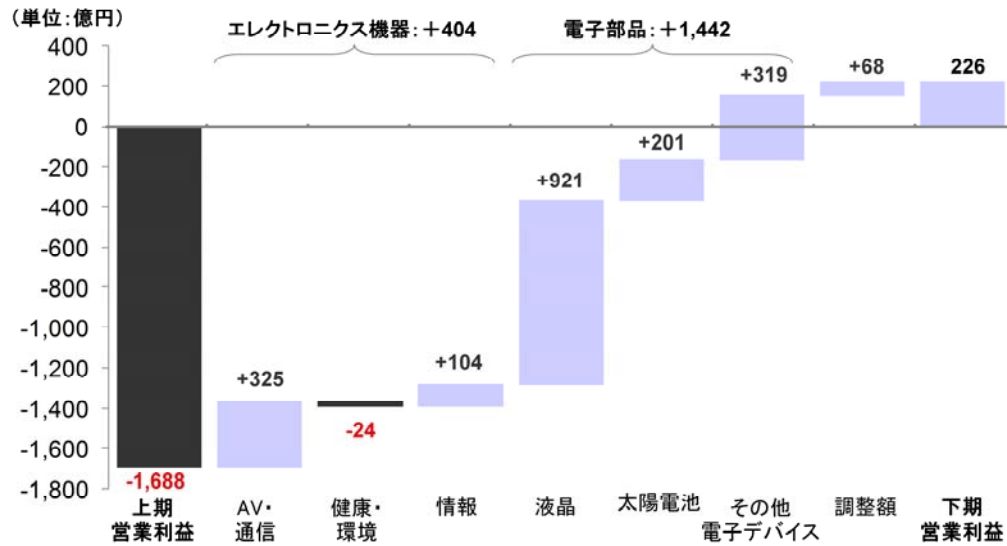
4

・「部門別」営業利益実績についても、

下期は、「液晶」を除くすべての部門において、営業利益の黒字化を達成することができるなど、ほぼすべての部門において、下期に損益回復が進展しました。

部門別 営業利益増減分析(上下対比)

上期の構造改革効果による、液晶、その他電子デバイスの改善が
全社収益改善に大きく寄与



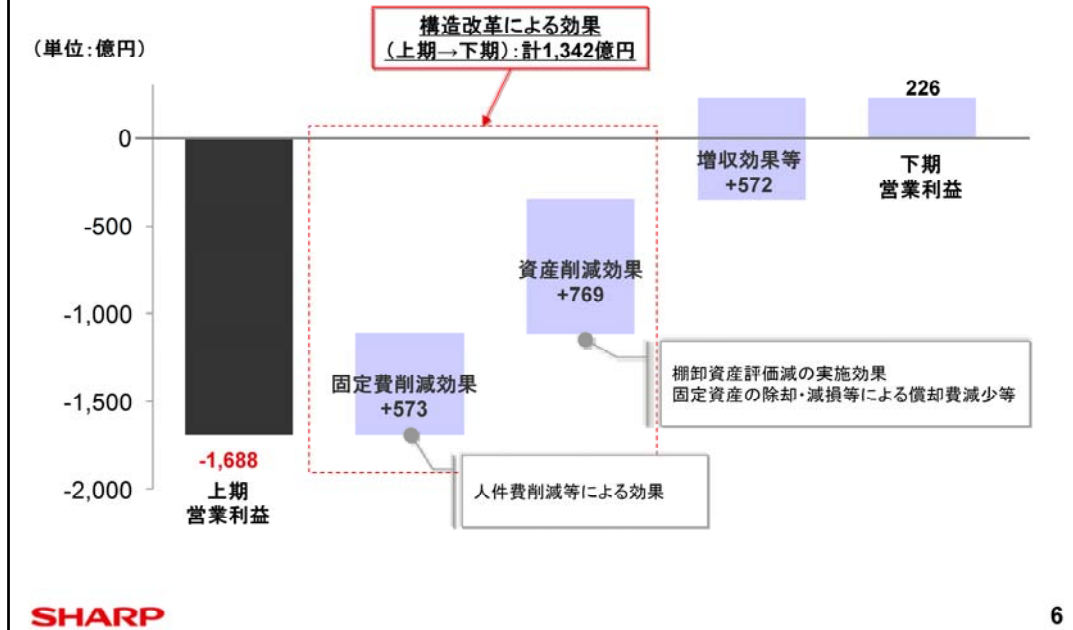
SHARP

5

- ・このスライドは、先ほどのスライドでご覧頂いた、上期から、下期にかけての部門別営業利益の増減を、グラフに表したものですので、ご参照下さい。

要因別 営業利益増減分析(上下対比)

固定費削減や資産削減の効果が黒字転換に寄与



- ・このスライドは、営業利益の増減を「要因別」に分析したものです。
ご覧の通り、人件費を中心とした、固定費の削減効果と、第2四半期における棚卸資産評価減の実施効果、及び固定資産の除却・減損等による償却費減などの、構造改革効果が、収益改善(営業黒字転換)に大きく寄与しました。

特別損益・法人税等の概要

急激な円安や中小型液晶の需要変動等、経営環境の変化に伴い、
固定資産の減損、事業構造改革費用の積み増し等を実施

(単位:億円)

	2011年度		2012年度				公表比 増減額	2012年度 前回公表 予想値
	年間	上期	3Q	4Q	下期	年間		
経常利益	-654	-1,972	-18	-73	-92	-2,064	+35	-2,100
特別損益	-1,729	-1,255	-304	-1,037	-1,341	-2,596		
減損損失	-66	0	0	-473	-473	-473		
事業構造改革費用	-1,171	-986	-273	-173	-447	-1,433		
和解金等	-188	-158	-20	-323	-343	-502		
その他	-303	-110	-10	-66	-76	-186		
法人税等調整額他	-1,376	-647	-45	-99	-144	-791		
繰延税金資産取崩し	-1,159	-610	0	-45	-45	-655		
その他	-217	-36	-45	-54	-99	-136		
特別損益・法人税等	-3,106	-1,903	-349	-1,136	-1,485	-3,388	-988	-2,400
当期純利益	-3,760	-3,875	-367	-1,210	-1,577	-5,453	-953	-4,500

SHARP

7

・このスライドは、特別損益、法人税等の状況です。

冒頭ご説明した通り、第4四半期において、減損損失、事業構造
改革費用、和解金等について、追加費用の計上を実施しました。

第4四半期における特別損失の概要

構造改革関連の費用処理は、概ね完了

・減損損失	473億円	AV、液晶事業における固定資産の減損
・事業構造改革費用	173億円	太陽電池事業のリース解約損等
・和解金等	323億円	訴訟損失引当
主要項目合計	970億円	

SHARP

8

- ・これらの主な内容はこのスライドの通りです。
- ・AV、液晶事業において固定資産の減損を実施した他、太陽電池事業のリース解約損等、事業構造改革費用の積み増しを実施しました。
これらは、急激な円安や中小型液晶の需要変動等、経営環境の変化に伴い第4四半期に実施することとなったものです。
- ・また和解金等については、2013年度での発生が新たに見込まれることになった、液晶カルテル関連の訴訟損失の引当を2012年度に計上したものです。
- ・なお、今回の処理で、一連の構造改革費用の計上は概ね完了したと考えております。

連結 貸借対照表推移

自己資本比率が6.0%へ低下

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			2011年度		2012年度	
	3月末実績	9月末実績	12月末実績	3月末実績		3月末実績	9月末実績	12月末実績	3月末実績
現金	1,953	2,211	1,640	1,919	買掛金	3,894	3,882	4,075	3,651
売掛金	3,754	4,105	4,142	4,242	短期借入金	2,123	5,112	6,725	6,749
棚卸資産	5,274	3,257	3,399	3,107	1年内社債	221	2,059	2,056	2,353
その他	3,229	3,016	3,368	2,949	CP	3,510	1,675	80	0
流動資産 計	14,211	12,590	12,551	12,218	その他	4,161	3,812	3,497	3,921
有形固定資産	8,724	6,366	6,003	5,636	流動負債 計	13,910	16,542	16,434	16,675
無形固定資産	760	646	638	592	社債	1,949	1,900	1,900	1,600
投資その他	2,424	2,590	2,509	2,424	転換社債	2,010	0	0	0
固定資産 計	11,908	9,603	9,152	8,653	長期借入金	1,129	994	750	730
資産合計	26,141	22,204	21,712	20,877	その他	689	488	446	523
					固定負債 計	5,779	3,383	3,096	2,853
					純資産	6,451	2,279	2,181	1,348
					負債純資産合計	26,141	22,204	21,712	20,877
					自己資本比率	23.9%	9.9%	9.6%	6.0%

SHARP

9

・このスライドは、連結貸借対照表の推移です。

以上の損益状況の結果に伴い、2013年3月末の自己資本比率は、12月末の9.6% から6.0%へ低下しました。

Ⅱ 資金政策

・次にこれら状況を踏まえた、当社重要課題である、資金政策についてご説明
します。

資金政策とマイルストーン



・2013年度は、6月にシンジケートローン3,600億円の契約期限を迎え、その後、9月に転換社債2,000億円の償還が控えています。

・まず、シンジケートローン3,600億円につきましては、主力行のみずほコーポレート銀行 及び 三菱東京UFJ銀行より、継続のご内諾を頂き、他の参加行とも継続に向けた協議を行っております。

・加えて、主力2行からは、上記転換社債の償還資金として、追加資金枠1,500億円の設定についても、ご内諾を頂くなど、継続的な支援協力を頂いております。

従って、上記転換社債の償還につきまして問題はないと考えております。

・引き続き、営業収益の確保によるキャッシュ・フロー改善はもとより、あらゆる角度から、さらなる資金の拡充に取り組んでまいります。

Ⅲ 2013年度 連結業績予想

・次に、2013年度の通期予想についてご説明します。

2013年度 年間連結業績予想

2013年度年間での当期純利益黒字化をめざす

(単位:億円)

	2012年度 年間	2013年度					
		上期予想		下期予想		年間予想	
			前同比		前同比		前年比
売上高	24,785	12,700	115.0%	14,300	104.0%	27,000	108.9%
国内	10,072	5,000	109.7%	5,200	94.3%	10,200	101.3%
海外	14,713	7,700	118.7%	9,100	110.6%	16,800	114.2%
営業利益	-1,462	150	-	650	287.2%	800	-
営業外損益	-602	-200	-	-200	-	-400	-
経常利益	-2,064	-50	-	450	-	400	-
特別損益・法人税 等調整額 他	-3,388	-150	-	-200	-	-350	-
当期純利益	-5,453	-200	-	250	-	50	-

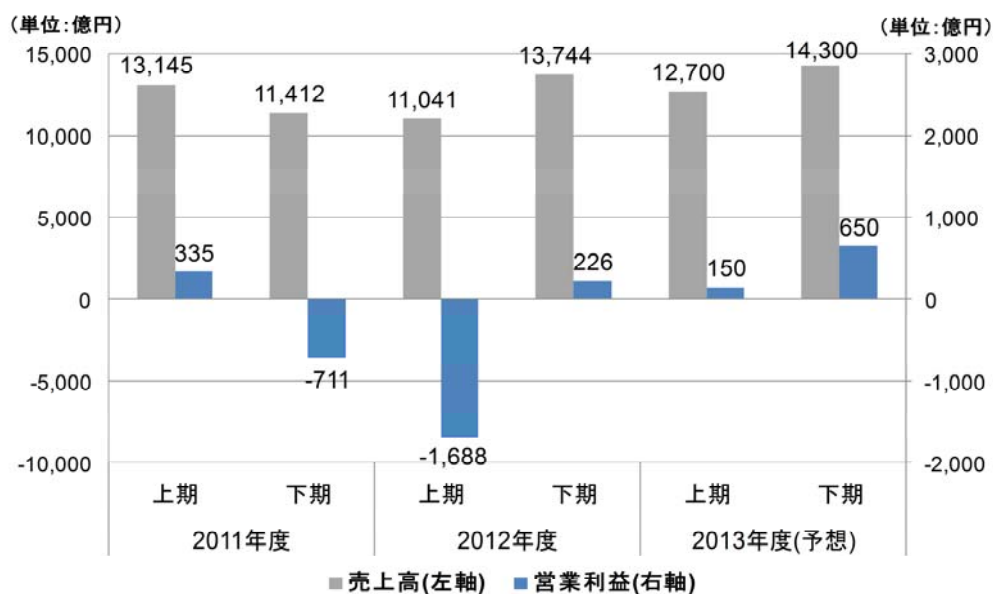
SHARP

13

- ・売上高は、前年比108.9%の2兆7,000億円
- 営業利益は、前年度のマイナス1,462億円から、
 (2,262億円改善の)800億円の黒字に
- 経常利益は、前年度のマイナス2,064億円から、
 (2,464億円改善の)400億円の黒字に
- 当期純利益についても、前年度のマイナス5,453億円から
 (5,503億円改善の)50億円の黒字と、各々回復をめざし、
 「当期純利益の黒字化」を計画しております。

売上高・営業利益推移(上期・下期別)

2013年度は、売上・利益共に、上期から下期への回復を見込む



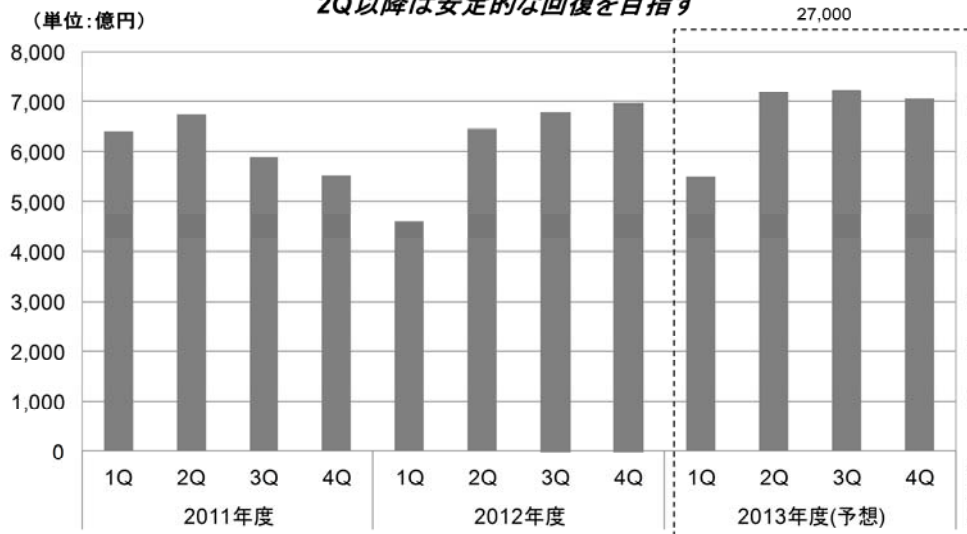
SHARP

14

- ・このスライドは、売上高と営業利益の推移を、上期・下期別に示したものです。
- ・売上高については、上期、下期それぞれ、1兆2,000億円、1兆4,000億円レベルへの回復を見込み、営業利益については、上期150億円、下期650億円と、昨年度下期に続き、営業黒字を計画しています。

四半期別 売上高推移予想

2013年度1Qは、季節要因等から、一時的な落ち込みが予想されるものの、
2Q以降は安定的な回復を目指す



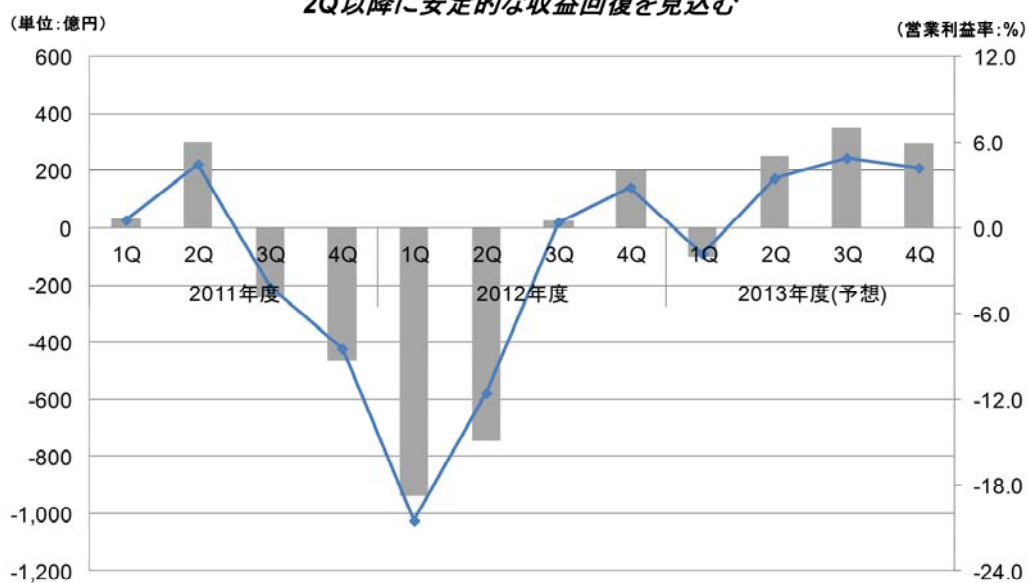
SHARP

15

- ・このスライドは、四半期別の「売上高推移・予想」を示したのですが、2013年度の第1四半期は、2012年度第4四半期からの落ち込みが予想されるものの、第2四半期以降、売上高を7,000億円レベルに高め、年間売上高2兆7,000億円をめざします。

四半期別 営業利益推移予想

2013年度1Qは、売上減に伴う利益減を予想するものの、
2Q以降に安定的な収益回復を見込む



SHARP

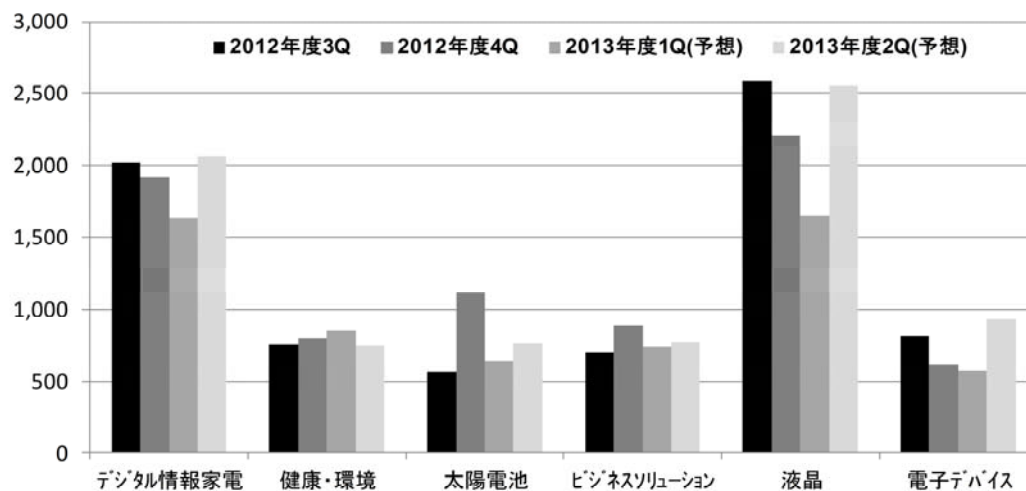
16

- ・このスライドは、四半期別の「営業利益推移・予想」です。
2013年度第1四半期は、売上高の減少による利益減が予想されるものの、
第2四半期以降、安定的な収益回復を見込んでいます。

四半期別 部門別 売上高推移 (2012年度下期～2013年度上期)

2013年度は、1Qから2Qにかけ、デジタル情報家電や液晶の販売が大きく回復

(単位:億円)



SHARP

17

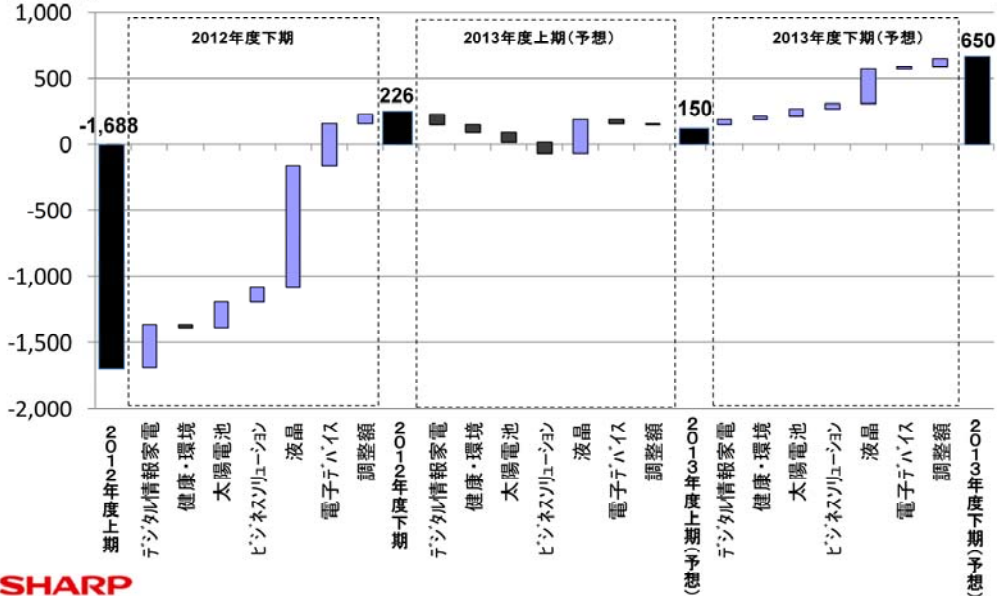
- ・第1四半期の売上減少の背景について補足説明いたします。
- ・このスライドは、2012年度下期から2013年度上期にかけて「部門別 売上高推移」を四半期別に示したものです。
- ・2013年度第1四半期では、「デジタル情報家電」と「液晶」で、商品販売の季節性や、大手顧客からの受注変動等が見込まれること、また「太陽電池」においては、第4四半期に、年度末の駆け込み需要があったことなどにより、第1四半期の売上高が、前期比で落ち込む見込みとなっています。
- ・しかし第2四半期以降は、これら要因からの回復が見込まれることから、先ほどのスライドでご覧いただいた売上高推移を想定しています。

部門別 営業利益増減推移

(2012年度上期～2013年度下期 上下対比)

2013年度上期は、商品部門での円安のネガティブ効果を勘案し前期比減益を見込むも、下期では液晶での円安効果及び受注回復、商品部門での収益回復等により、増益を目指す

(単位:億円)



SHARP

18

- ・このスライドは、「部門別 営業利益」の増減推移を上下(かみしも)対比で示したものです。
- ・商品部門における、円安のネガティブ効果等を勘案し、2013年度上期は、前下期比での減益を見込むものの、下期では、円安効果と大手顧客向け販売増の見込まれる「液晶」、並びに商品部門の収益回復等で、増益を計画しています。

2013年度年間 部門別売上高(1)

プロダクトビジネス部門

(単位:億円)

	2011年度	2012年度				2013年度		
	年間	上期			下期	年間	年間予想	前年比
			3Q	4Q				
デジタル情報 家電	10,610	3,385	2,023	1,916	3,940	7,326	7,600	103.7%
健康・環境	2,922	1,549	748	798	1,546	3,096	3,200	103.3%
太陽電池	2,238	930	559	1,108	1,668	2,599	2,800	107.7%
ビジネス ソリューション	2,775	1,389	696	883	1,580	2,969	3,100	104.4%
プロダクト ビジネス	18,548	7,256	4,028	4,706	8,735	15,992	16,700	104.4%

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

19

- ・これ以降のスライドは、部門別業績予想の具体的数値を記載していますので、詳細は後ほどご参照下さい。
- ・このスライドは、部門別売上高の通期予想です。
 なお、4月1日付の組織変更に伴い、これまでの「エレクトロニクス機器」「電子部品」の2セグメントを「プロダクトビジネス」「デバイスビジネス」に改称するとともに、「太陽電池」を(「電子部品」から)「プロダクトビジネス」に組入れております。
 また、「AV・通信機器」を「デジタル情報家電」、「情報機器」を「ビジネスソリューション」へ各々改称しております。
- ・「プロダクトビジネス」部門では、各部門ともに増収を計画し、前年比104.4%をめざします。

2013年度年間 部門別売上高(2)

デバイスビジネス部門、合計

(単位:億円)

	2011年度		2012年度			2013年度		
	年間	上期			下期	年間	年間予想	前年比
			3Q	4Q				
液晶	7,210	3,680	2,582	2,205	4,788	8,468	9,700	114.5%
電子デバイス	2,381	1,264	822	620	1,442	2,706	3,200	118.2%
デバイス ビジネス	9,591	4,944	3,404	2,826	6,230	11,175	12,900	115.4%
小計	28,140	12,201	7,433	7,532	14,966	27,167	29,600	109.0%
調整額	-3,581	-1,159	-650	-571	-1,222	-2,381	-2,600	-
合計	24,558	11,041	6,782	6,961	13,744	24,785	27,000	108.9%
国内	11,811	4,557	2,559	2,956	5,515	10,072	10,200	101.3%
海外	12,746	6,484	4,223	4,005	8,228	14,713	16,800	114.2%

SHARP

※セグメント(プロダクトビジネス・デバイスビジネス)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

20

・「デバイスビジネス」部門につきましては、

新規顧客開拓と大手顧客向け販売増による売上拡大が見込まれる「液晶」を中心に、前年比115.4%の計画としております。

・なお、2012年度の為替レート実績は、平均で1ドル82円でしたが、

今年度は1ドル95円を想定しており、両セグメントともに海外売上において、円安による売上の押し上げ効果を織り込んでおります。

2013年度年間 部門別営業利益(1)

プロダクトビジネス部門

上段: 営業利益 (億円)
下段: 営業利益率 (%)

	2011年度		2012年度				2013年度	
	年間	上期				年間	年間予想	前年比増減
			3Q	4Q	下期			
デジタル情報	-61 -0.6%	-211 -6.3%	53 2.6%	60 3.1%	113 2.9%	-98 -1.3%	120 1.6%	+218
健康・環境	294 10.1%	173 11.2%	74 10.0%	73 9.3%	148 9.6%	322 10.4%	200 6.3%	-122
太陽電池	-219 -9.8%	-123 -13.2%	-19 -3.4%	97 8.8%	78 4.7%	-44 -1.7%	60 2.1%	+104
ビジネス ソリューション	277 10.0%	69 5.0%	63 9.1%	110 12.5%	173 11.0%	243 8.2%	220 7.1%	-23
プロダクト ビジネス	290 1.6%	-91 -1.3%	172 4.3%	341 7.3%	513 5.9%	421 2.6%	600 3.6%	+178

SHARP

21

- ・部門別営業利益の通期予想については、
ご覧のとおり、前年度に対し178億円増の600億円としております。

2013年度年間 部門別営業利益(2)

デバイスビジネス部門、合計

上段:営業利益 (億円)
下段:営業利益率 (%)

	2011年度		2012年度				2013年度	
	年間	上期	2012年度			年間	年間予想	前年比増減
			3Q	4Q	下期			
液晶	-422 -5.9%	-1,155 -31.4%	-117 -4.6%	-116 -5.3%	-234 -4.9%	-1,389 -16.4%	300 3.1%	+1,689
電子デバイス	95 4.0%	-237 -18.8%	31 3.9%	50 8.2%	82 5.7%	-155 -5.7%	120 3.8%	+275
デバイス ビジネス	-327 -3.4%	-1,393 -28.2%	-85 -2.5%	-66 -2.3%	-151 -2.4%	-1,545 -13.8%	420 3.3%	+1,965
小計	-36 -0.1%	-1,485 -12.2%	86 1.2%	275 3.7%	361 2.4%	-1,123 -4.1%	1,020 3.4%	+2,143
調整額	-338	-203	-59	-75	-135	-339	-220	+119
合計	-375 -1.5%	-1,688 -15.3%	26 0.4%	199 2.9%	226 1.6%	-1,462 -5.9%	800 3.0%	+2,262

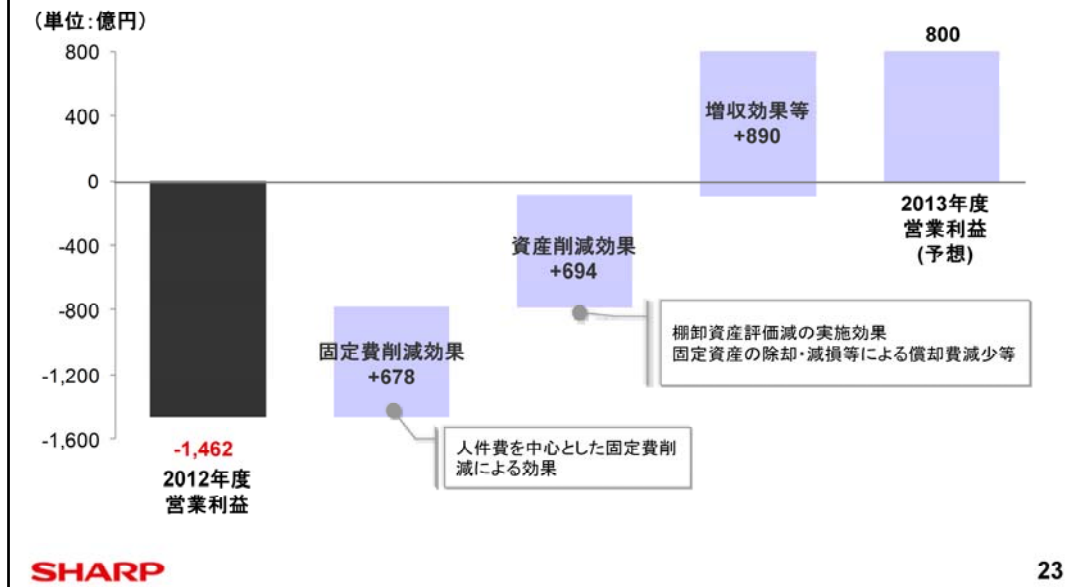
SHARP

22

- ・「デバイスビジネス」部門もご覧のとおり、前年度に対し1,965億円増の420億円としております。
- ・これにより2013年度においては、プロダクト部門、デバイス部門の全部門における営業黒字化をめざしてまいります。

要因別 営業利益増減予想(対2012年度比)

2012年度に実施した構造改革効果を中心に収益回復を図る

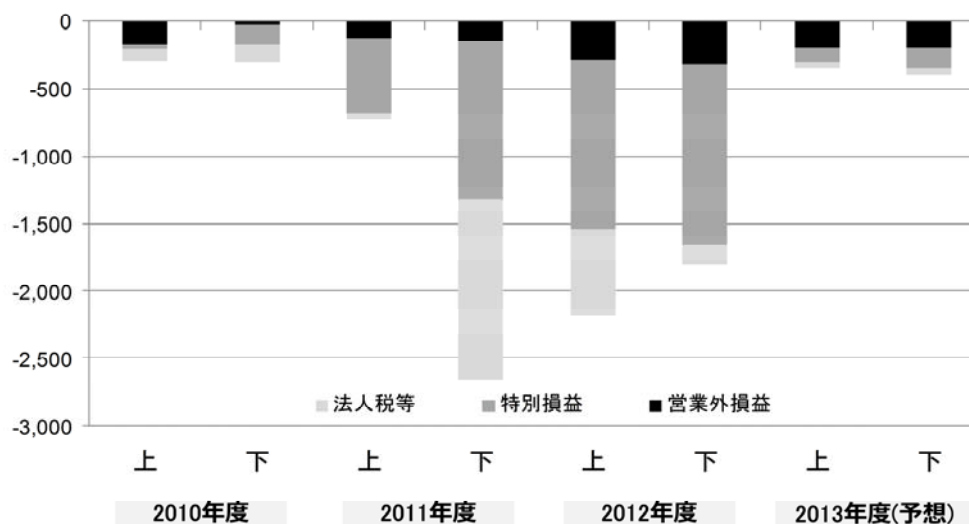


- ・このスライドは、営業利益の増加を「要因別」に分解したものです。
ご覧の通り、人件費を中心とした 固定費削減効果や、資産削減、及び増収効果が利益改善に大きく寄与する見込みです。

営業外損益、特別損益、法人税等 推移(上・下別)

構造改革関連の費用処理は、2012年度迄で概ね完了

(単位:億円)



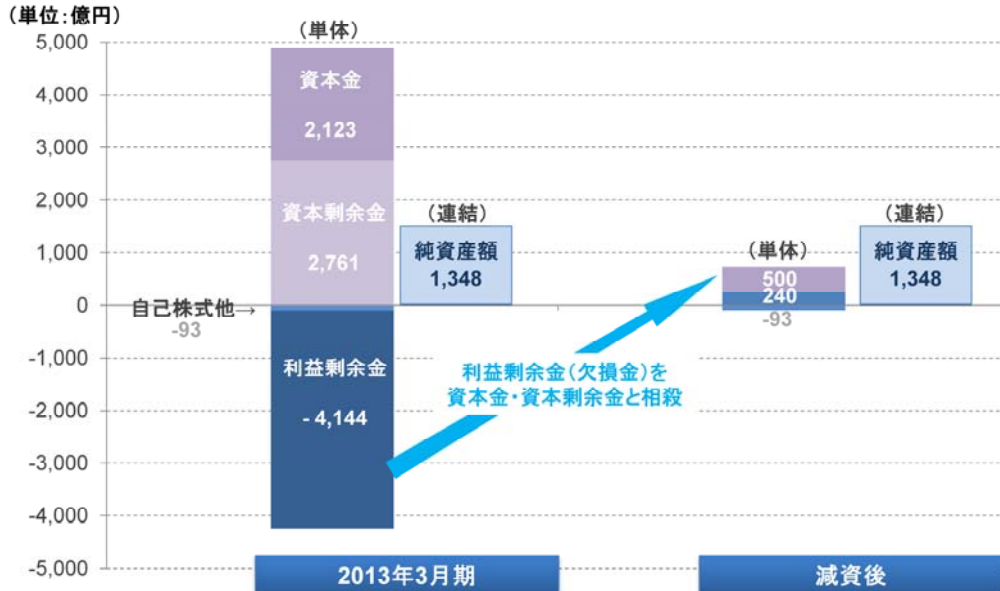
SHARP

24

- ・このスライドは、営業外損益、特別損益、法人税等の推移を上期・下期別に示したものです。
- ・2011年度から2012年度にかけて、多額の処理を実施した構造改革関連費用は、2012年度で概ね完了し、営業外損益、特別損益等は、2013年度以降は大きく改善する計画です。
- ・営業利益の回復と併せ、これら損益の改善により、当期純利益の黒字化をめざしてまいります。

バランスシート（純資産の部）のクリーンアップ

財務体質の健全化と今後の機動的な資本政策に備え減資を実施。
勘定科目の振り替え処理であり、純資産額・発行済株式総数等には影響なし



25

- ・なお、今回、減資の発表を併せ行っていますが、これは繰越欠損金が膨らんだ「資本の部」を整理し、新たなスタートを切るために実施するものです。
- ・これは、あくまでも会計上の処理で、純資産額、発行済株式総数に影響はなく、従って「一株当たり純資産額」も、これによる変動はありません。
- ・今後、営業キャッシュフローの積み上げにより資本の増強に努めてまいります、今回の減資を踏まえ、機動的な資本政策の検討を進めて参ります。

組織・ガバナンス体制の強化

施策	具体的なメニュー
1 ビジネスグループ制 の導入	<ul style="list-style-type: none">■お客様起点のクイックレスポンス実現に向けた 一気通貫の組織体への変革■事業特性に応じた的確なマネジメントの徹底
2 コーポレート 統括本部 及び構造改革 実行本部の設置	<ul style="list-style-type: none">■本社の統制・牽制機能の強化■中期経営計画の完遂に向けた実行体制の強化
3 主力2行からの 経営参画	<ul style="list-style-type: none">■主力2行と一体となった経営再建の取り組み強化

SHARP 26

- ・また、当社は4月1日付で、ビジネスグループ制を導入、コーポレート統括本部の設置を行い、マネジメント力強化・実行力強化を図っております。
- ・加えて、今回新たに、主力2行より人材を派遣頂き、経営に参画頂くこととしており、主力行様と一体となった経営再建に取り組んでまいります。

補足資料 ～主要商品販売高等～

27

・なお、主要商品・デバイスごとの状況については、補足資料に記載しておりますので、後ほどご参照下さい。

・最後に

当社は、今後とも、手を緩めることなく構造改革の取り組みを加速させ、「2013年度当期純利益の黒字化」の必達に邁進してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

主要商品販売高

(単位: 億円)

	2011年度	2012年度				2013年度	
	年間	上期	下期	年間		年間	
	実績	実績	実績	実績	前年比	予想	前年比
液晶カラーテレビ	5,813	1,857	2,027	3,884	66.8%	4,000	103.0%
販売台数(万台)	1,229	389	413	803	65.3%	800	99.6%
携帯電話	3,058	983	1,313	2,296	75.1%	2,400	104.5%
販売台数(万台)	770	273	337	611	79.3%	680	111.3%
冷蔵庫	831	451	427	879	105.7%	960	109.1%
エアコン	535	358	238	596	111.4%	620	103.9%
太陽電池	2,239	930	1,668	2,599	116.1%	2,800	107.7%
販売量(MW)	1,073	542	777	1,319	122.9%	1,600	121.3%
複写機・複合機	1,142	563	721	1,284	112.4%	1,400	109.0%
CCD・CMOSイメージャ	975	667	867	1,535	157.4%	1,900	123.8%

地域別 海外売上高

上段:売上高 (億円)
下段:構成比 (%)

	2011年度		2012年度			2013年度	
	年間	上期	下期	年間		年間	
	実績	実績	実績	実績	前年比	予想	前年比
米州	2,883	1,469	2,083	3,552	123.2%	3,600	101.3%
	22.6%	22.6%	25.3%	24.1%		21.4%	
欧州	2,826	919	824	1,743	61.7%	1,700	97.5%
	22.2%	14.2%	10.0%	11.9%		10.1%	
中国	4,832	2,787	3,891	6,679	138.2%	8,200	122.8%
	37.9%	43.0%	47.3%	45.4%		48.8%	
その他	2,203	1,308	1,429	2,737	124.2%	3,300	120.6%
	17.3%	20.2%	17.4%	18.6%		19.7%	
合計	12,746	6,484	8,228	14,713	115.4%	16,800	114.2%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	

その他 補足資料

(単位:億円)

	2011年度	2012年度				2013年度	
	年間	上期	下期	年間		年間	
	実績	実績	実績	実績	前年比	予想	前年比
設備投資	1,188	550	273	824	69.4%	800	97.0%
<参考>液晶※1	751	369	90	460	61.3%	270	58.6%
減価償却費	2,389	926	807	1,733	72.6%	1,300	75.0%
研究開発費	1,547	743	635	1,379	89.1%	1,600	116.0%

為替レート					
米ドル	78.09円	78.42円	85.80円	82.11円	95.00円
ユーロ	107.48円	99.14円	112.15円	105.65円	125.00円

	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末
従業員数※2	55,580人	56,756人	50,429人
国内	29,895人	29,387人	24,680人
海外	25,685人	27,369人	25,749人

※1 シャープ株式会社 (2012年度1Qまでは、シャープ株式会社及びシャープディスプレイプロダクト株式会社)

※2 シャープ株式会社及び連結子会社

SHARP